

園長だより



# ちゅうぶつ子

R6. 9. 12発行

発行者

出雲市立中部幼稚園

園長 高橋 均

2学期スタート！～実りの秋へ向けて～

Início do 2 período! Rumo ao outono

今年ことしの夏なつは昨年さくねん以上の「酷暑こくしょ」となり、気温きおんが40度近くまで上昇じやうじやうする日ひが続ついて、非常ひじょうに厳きびしい暑あつさでした。とても日中じちゆうは外そとに出でられる状態じやうたいではなく、これまでの、「元ちが気に外そとで遊あそぶ夏なつ休み」といったイメージとは違ちがって、家うちの中うちのクーラークーラーのある部屋へやで過すごすのが普通ふつうになってきています。年々としとし厳きびしくなる夏なつの暑あつさに、これから日本にっぽんの気き候こうがどうななっていくのか心こころ配ぱいになりますね。また、8月はちがつの終しゆうわりには、非常ひじょうに強つよい勢せい力りきの台たい風ふう10号じゅうじゅうごうが日本にっぽんに上あ陸りくし、各地あちこちに甚じん大だいな被ひ害がいをもたらしました。幸さいわい出雲地方いづみちほうは大きな被ひ害がいが少すくなく、ほっとしましたが、これからは強つよい勢せい力りきの台たい風ふうが頻ひん繁ぱんに発はっ生せいするようなので、こちらこちらの方も心こころ配ぱいしています。

一方一方、今年ことしの夏なつ休みはパリでオリムピックやパリンピックが開かい催さいされ、体たい操そうやフェンシング、卓たっ球きゆうなど、多おほくの競きやう技ぎで日本にっぽんの選せん手しゅが大だい活かつ躍やくし、大だいいに楽たのしませてもらいました。また、高こう校こう野や球きゆうでも、地じ元げんの大だい社しゃ高こう校こうが並ならみ居いる強きやう豪ごう校こうを相あ手てに果ぐ敢かんに立たち向むかい、最さい後ごまであきらめず粘ねばり強つよく戦いくさい、手あせに汗あせ握にぎる熱ねつ戦せんを繰くりり広ひろげ、勇ゆう気きと感かん動どうを届とどけてくれました。こんな「熱あつさ」なら大だい歡かん迎げいです。

さて、このようにいろいろな意味こどもで暑あつかった（熱あつかった）夏なつでしたが、子供こどもたちは、大だいきな病びやう気きやけが、事じ故こ等とうもななく夏なつ休みを元げん気に過あつごし、9月しきゅうしき2日にち（月つき）に始しきやう業ぎ式しきを迎むかえ、2学期にせうぎをスすタたートするこことがでできました。これも、保ほ護ご者しや、ご家か族ぞく、地ち域いきの皆みな様さまに、子供こどもたちを温あたたかく見み守まもっていただいたおおかかげです。改あらためて感かん謝しゃ申もうしあげます。今いま学期しきも引ひき続つづき、ご指し導どう、ご支し援えんのほほど、よよろしくお願ねがいいたします。

始し業ぎ式しきでは、私わたしの方かたから子供こどもたちに向むかけて次つぎの3つさんのこことを話わしました。

## 1 実みりの秋あきとなるようがんばること

2学期にせうぎは運うん動どう会かいや遠えん足そく、生せい活かつ表ひょう会かいなど、大だいきな行ぎやう事じが続つづきます。それらの行ぎやう事じを実みりあるものにするたために、一ひと人ひとりがめあてをもち、みみななで力ちからを合あわせせていくこことが大だい事じです。たたくましく成せい長ちやうしていけるよう支さえていきます。

## 2 元げん気きなあいさつをすること

今いま学期しきも引ひき続つづき、「おはよう」「こんにちば」「さようなら」「あありががととう」「ご

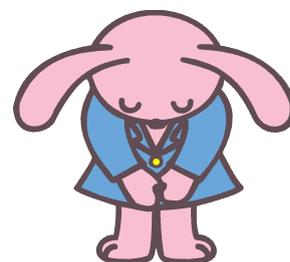


「めんなさい」の5つのあいさつをがんばります。あいさつは、相手を大事にする第一歩なので、みんなで意識して取り組んでいきます。

### 3 スリッパをそろえること

トイレのスリッパを使った後、きちんとそろえておくことも、引き続きがんばります。これも次に使う人を思いやる大事な行動です。このような具体的な行いを通して、自分もひとにも大事にできる子に育てていきたいと考えています。

\* 夏休み中の8月18日（日）、PTA環境整備作業を行いました。保護者の皆様には、草刈りや草抜き、溝掃除等、早朝より熱心に作業に取り組んでいただき、ありがとうございました。手際よく作業していただいたおかげで、見違えるようにきれいになりました。本当にありがとうございました。



## 紙芝居『三毛猫フクの大冒険』を聞きました Escutamos a história [A longa jornada de Fuku]

9月3日（火）の誕生日会のおたのしみとして、地域でさまざまなボランティア活動をしておられる柳楽さんと竹下さんをお招きして、紙芝居を聞かせてもらいました。『三毛猫フクの大冒険』というお話で、出雲大社に観光に来られた方のペットの三毛猫フクが迷子になり、出雲の人たちの親切により無事に飼い主のもとへ帰ることができたという実話をもとにした紙芝居です。柳楽さんたちは日本語版だけでなく、英語版やポルトガル語版も作っておられ、今回はポルトガル語版を用いて、日本語とポルトガル語を交互に読んでもらいました。全園児36名中ブラジルの子供たちが14名もいる中部幼稚園なので、みんなとても喜んでいました。また、このお話をもとに、歌やダンスも作っておられ、ていねいに教えてもらいながら歌やダンスにも挑戦し、笑顔いっぱいの楽しい会となりました。子供たちの反応の良さに、柳楽さんと竹下さんもとても感激しておられました。

